



第16期 中間のご報告

(2019年4月1日～2019年9月30日)

当社グループが目指すもの

DON'T STOP!

当社グループは「Don't Stop!」を社是とし、企業理念である「カスタマーファースト」「バリューアップ」「イノベーション」「コンプライアンス」の4つの基本コンセプトの実現に向けた取り組みを継続的に実行し、かつ「とめない、とまらない」ことを会社経営の基本方針としています。



株式会社
マネーパートナーズグループ

代表取締役社長

奥山 泰全

株主の皆様へ

ご挨拶

平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社グループの第16期事業年度の中間業績(2019年4月1日～2019年9月30日)の概況についてご報告申し上げます。

当中間期は、米中貿易問題の懸念やプレグジット、香港の民主化運動など世界経済の後退を大いに懸念する重大な問題を孕みつつ、主要通貨であるドル円をはじめとした外国為替の値動きは明確な方向感を見せず、数年来の小動きに終始するという模様眺めの展開となりました。

このような状況のもと、当社はコストを睨みつつ、お客様よりいただく取引の収益向上に取り組み、業績の維持に努め、次なる成長への取り組みを確立させるべく継続した準備に取り組んでまいりました。

4年を超える大プロジェクトである基幹システムの刷新にもメドが立ち、本年10月より基幹システムが本格稼働を開始いたしました。今後10年の当社の未来を築く大きな機能追加を内在させつつ、目下はお客様にご迷惑がかかることのないよう最大限の配慮をし、問題なくシステムが安定稼働するよう注力いたします。本基幹システムの入れ替えにより、まずはシステム維持費の最適化を実現し、その後、他社にない新たなサービスを繰り出していきたいと考えております。

主力事業であるFX取引においては、引き続きお客様にご満足いただけるサービスを提供しつつ、投資・資産運用においてお客様と共に歩んでいけるWinWinのビジネスモデルを模索することにより業績の向上を目指してまいります。

マネパカードにおいては、2019年4月よりその利便性を拡充するための「おまかせチャージ」「おまかせ両替」の新機能をリリースいたしました。これはカード内残高があれば内部処理で自動両替・自動チャージを行うことができるようにした画期的機能であり、利用するお客様の利便性を格段に向上させる取り組みであります。

また、準備中であります仮想通貨事業につきましては、グローバルアンチマネーローナードリングを見据えた取引先等の調整を丁寧に行う必要性が生じておりサービス開始が遅れておりますが、引き続き当社グループの重点取組分野として準備を進めてまいりました。

本年6月に子会社化を決定したコインエッジ株式会社は、仮想通貨の総合的サービスを行うべく登録取得、開業を目指して準備を進めております。

今後も、当社の中核事業であるFXにおいてより一層きめ細かな施策を展開しつつ、空港での両替サービスや複数通貨決済対応のマネパカードなど、FXを取り巻く様々な外国為替のサービスの拡充、また将来を見据えた取り組みとして仮想通貨への取り組みを引き続き進め、業績の向上に努めてまいります。

このような取り組みのもと、2020年3月期の中間の連結業績は、営業収益で2,702百万円、経常利益は184百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は95百万円となりました。

株主の皆様におかれましては引き続きのご支援を賜りたくお願い申し上げます。

当中間期連結業績

■ 営業収益	2,702 百万円	■ 総資産	88,494 百万円
■ 経常利益	184 百万円	■ 純資産	13,442 百万円
■ 親会社株主に帰属する四半期純利益	95 百万円	■ 1株当たり四半期純利益	3円01銭

上期のポイント

Point 1

外国為替 相場の状況

当中間期の外国為替相場は、米ドル/円については、米中通商問題や米国金利引き下げに対する思惑を主要なテーマとして推移しました。8月には米中通商問題への懸念が高まり1ドル104円台半ばをつける局面はありましたが、期首の110円台後半から期末の108円丁度の緩やかな円高傾向となり、外貨の買ポジションを保有する投資家から見ても逆風と言える相場展開でした。米ドル/円をはじめとする主要通貨の変動率は前年同期を下回り、国内全体のFX取引高は前年同期と比べ約5%減少いたしました。

Point 2

スプレッド 競争再燃の 兆候

当中間期は、外国為替相場の変動率が前期から更に一段と低い水準で推移しました。足元では、当中間期の状況が引き金の一つとなって、FX取引業界ではスプレッドを引き下げる価格競争が再燃する兆候が表れております。当社グループは、価格は非常に重要なサービスの要素の一つであると考え、個人投資家の皆様が外国為替証拠金取引を通じて資産を増やすためのサービス提供を行うという本質を見失わず、よりお客様に喜んでいただけるサービスを提供してまいりたいと考えております。

Point 3

新基幹 システム

2016年9月に開発着手した外国為替証拠金取引等に係る基幹システムの更新が本年10月から11月にかけて実施されました。新しいシステムは、今後の10年を見越しての性能の向上や規模の拡張性を備える他、様々な新サービス等を可能とする機能の拡張性を有しております。移行当初は、安定稼働とお客様の混乱防止を優先するため、旧システムとほぼ同内容のサービスでスタートいたしました。今後も引き続き、カバー取引等における収益性の向上や新たなサービス・機能の追加による競争力強化・顧客基盤拡大等、業績向上に寄与させるべく取り組んでまいります。

財務ハイライト

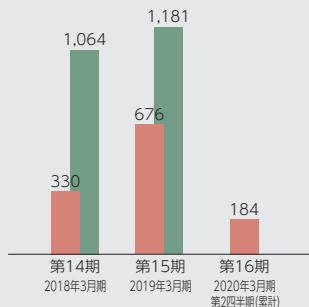
営業収益

(単位：百万円)



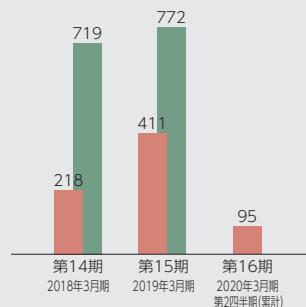
経常利益

(単位：百万円)



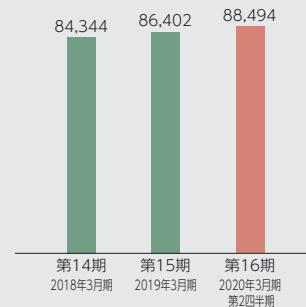
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

(単位：百万円)



総資産

(単位：百万円)



※営業収益には、消費税等は含まれておりません。

〈当中間期の取り組み〉

4月

4/1 【マネパカード】
「おまかせチャージ」サービス提供開始

おまかせチャージの設定を行うことで、カードの残高が少なくなるたびに、お預かりしているご資金から自動でチャージを行い、ログインやチャージの手間がなくお買いものをお楽しみいただけるサービスの提供を開始いたしました。



7月

7/15～ 【FX】
「パートナーズFX」スプレッド縮小

主力商品である「パートナーズFX」において、メキシコペソ/円0.3銭として、標準スプレッドを業界最狭水準に縮小いたしました。



9月

9/25～ 【FX】
連続予約注文キャンペーンを開催

連続予約注文を使用したお取引の条件に応じて、抽選で賞金をプレゼントするキャンペーンを開催しております。



4月 APRIL

5月 MAY

6月 JUNE

7月 JULY

8月 AUGUST

9月 SEPTEMBER

4月

4/1 【マネパカード】
「おまかせ両替」サービス提供開始

おまかせ両替の設定を行うことで、チャージ済みの通貨を他の色々な通貨に自動で両替し、利用したい通貨の利用可能残高(チャージ済)がなくても他通貨の利用可能残高(チャージ済)があれば、都度両替なしでご利用いただけるサービスの提供を開始いたしました。



6月

6/14 【その他】
コイネージ株式会社の子会社化について

仮想通貨交換業登録に向けて準備を進めているコイネージ株式会社を子会社化することを2019年6月14日開催の取締役会にて決議し、2019年7月1日付で子会社化し、仮想通貨交換業の登録並びに開業準備に着手しております。詳細は「暗号資産(仮想通貨)関連ビジネスについて」のページをご覧ください。

9月

5周年 【マネパカード】
「マネパカード」5周年大感謝祭

マネパカードは今年で誕生から5周年を迎えるにあたり、カードデザインの刷新や、ご愛顧いただいておりますお客様への、キャンペーンを開催しております。



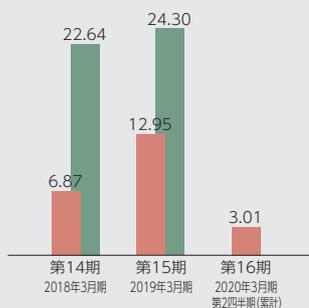
純資産

(単位: 百万円)



1株当たり四半期(当期)純利益

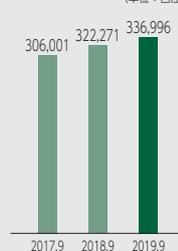
(単位: 円)



事業データ

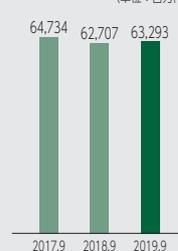
顧客口座数

(単位: 口座)



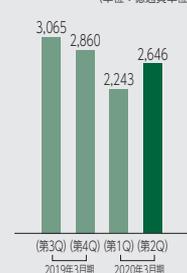
顧客預り証拠金

(単位: 百万円)



外国為替取引高

(単位: 億通貨単位)



(注) 顧客口座数、顧客預り証拠金・・・各第2四半期末時点の口座数、預り証拠金残高
外国為替取引高・・・各四半期の3ヶ月間の取引高
なお、それぞれの計数には、2011年8月より開始したCFDに関する数値を含めて表示しております。

暗号資産（仮想通貨）関連ビジネスについて

2019年3月25日

・株式会社大和証券グループ本社とブロックチェーン技術を用いた業務及びブロックチェーン技術に係るコンサルティング業務についての提携契約を締結

2019年6月14日

・子会社設立に代え、7月1日付でコインエージ株式会社を子会社化することを決定し、仮想通貨交換業の登録準備並びに開業を準備中

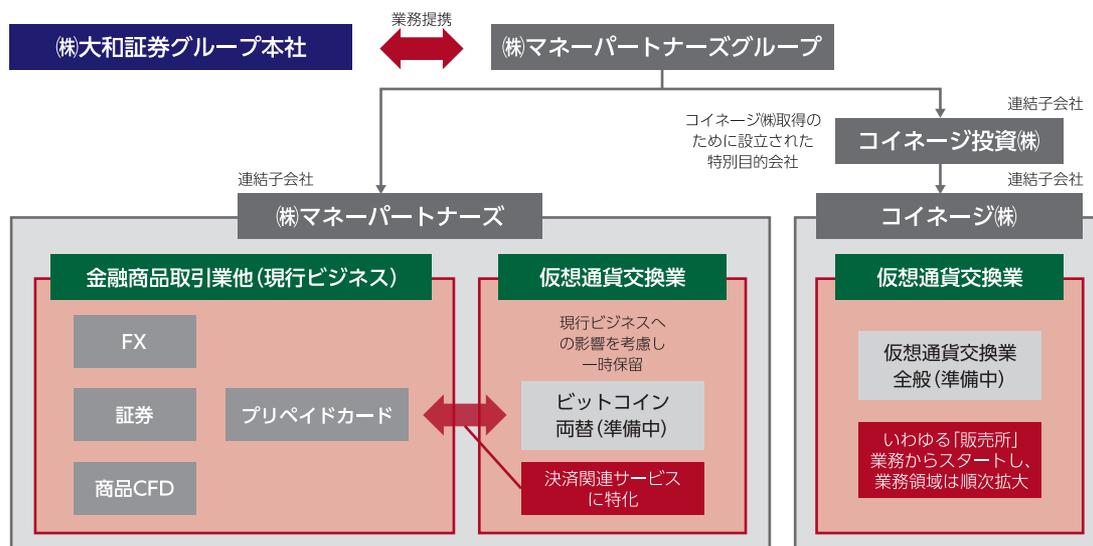
<今後のスケジュール>

2019年7月（実施済み） コインエージ株式会社増資（第1回） 400百万円

2019年11月～2020年1月 コインエージ株式会社増資（第2回） 580百万円

2020年4月を目途 仮想通貨交換業に係るサービス開始

仮想通貨（暗号資産）について



特別セミナー&レポート情報

マネーパートナーズは、お客様のお取引・リスク管理等にお役立ていただくため、様々な媒体を通じて、外国為替に関するマーケット情報を提供しております。

オンラインセミナー



コラム



通貨特設ページ



会社概要 (2019年9月30日現在)

商号	株式会社マネーパートナーズグループ
URL	http://www.moneypartners-group.co.jp/
所在地	東京都港区六本木三丁目2番1号
代表者	代表取締役社長 奥山 泰全
設立	2005年6月10日
資本金	2,022百万円
従業員数	6名 (連結: 110名)
グループ会社	株式会社マネーパートナーズ 株式会社マネーパートナーズソリューションズ コイネージ投資株式会社 コイネージ株式会社
事業内容	持株会社としてグループ各社の株式を保有することにより、当社グループ全体の経営戦略、経営管理機能を担っています。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
上記基準日	3月31日 その他基準日を定める場合は、あらかじめ公告します。
公告方法	電子公告 http://www.moneypartners-group.co.jp/ ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 ☎ 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

(ご注意)
未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

配当について

当社は利益還元に関し、株主の皆様のご期待とご支援に一層応えてまいりますとの考えから、継続的かつ適正な利益還元を経営の重要課題と位置付けております。具体的には、年間の配当性向の目処を連結当期純利益の30%とし、中間配当及び期末配当の年2回実施することとしております。

2020年3月期の中間配当につきましては、上記の方針に基づき、1株当たり2.0円 (配当金の総額65百万円) とさせていただきます。

